

青森市熟年野球大会規定

1. 2021年度全日本軟式野球連盟規則及び大会規定を適用する。
成熟・壮熟・還熟・古希、すべての部に特別打者制度を導入する。特別打者制度の実施要領は別に定める。
2. 試合球はトップボール・ケンコーボール（M号）を採用、試合チームは新品ボールを2個提出する。
3. 打順表については、控え選手は書かなくてもよい。
4. 試合は7回戦とし、試合時間は120分とする。ただし110分を越えて新しい回に入らないものとする。
5. 試合時間（最終回の宣言）について、審判と両チームの監督は早めの協議を行い、協力し合うこと。
6. 試合時間短縮のため、アウト後のボール回しはしない。
7. 得点差のコールドゲームは採用しない。
8. 降雨、日没等のコールドゲーム成立は5回終了後とする。
9. 試合開始時刻になっても試合加納人員に達しない場合の持ち時間は10分とし、それを過ぎた場合は不戦敗とする。結果報告書には〇〇チーム不戦勝 □□チーム不戦敗 と記入する。
10. 壮熟・還熟・古希の部は金具付きスパイクの使用を禁止する。
11. 順位の決定は次の順番で判定する。
 - (1) ①勝ち数の多い順 ②負け数の少ない順 ③当事者同士の対戦勝敗
 - (2) ①と②が同数で且つ③が引き分けの場合は、得失点率により決定する。棄権（不戦敗）をすることはそのチームにとって最も不名誉なことであり、その理由が客観的にやむを得ないと協会が認めた場合に限る。（事前に協会が判断できる時間が必要である）
12. ファールボールは打球に近い方のベンチで回収する。その他は攻撃側とする。
13. 攻撃側走者が負傷した場合で、治療・手当のため試合の中断が長引くと審判員が判断した時は、打順の前位の者（投手及び捕手を除く）を臨時代走として許可できる。
14. 異議、その他の申し出は監督又は主将に限る。（当該プレーヤーは除く）
15. ベンチは組み合わせ番号の若い方を一塁側とする。ただし連続して2試合行うチームのベンチはそのまま引き続き使用する。
16. 背番号は監督30番、主将10番とする。
17. 代理監督・代理主将で試合に臨むチームは主審及び相手チームに通知すること。
第一試合担当審判員は30分以上前には集合し、ライン引きを行うこと。還熟の部・古希の部は投手板の埋め込みも行うこと。なお、投手板の埋め込みには細心の注意を払い、試合中に動くことが無いように固定すること。
投手板の前縁と本塁の間隔は16m30cm・塁間は25mとする。
18. 追加登録選手は事務局に書面で届け出ること。毎週水曜日を締切日とし、次の日曜日から出場できるものとする（古希は不定期）。事務局では追加選手が所属する部の各チームに予め連絡する。
19. 試合結果報告書の得点は双方が記入するが、相手チームのバッテリー及び長打は記入しなくてもよい。なお、選手名で同姓者が複数いるチームは個人を特定できるように記入すること。